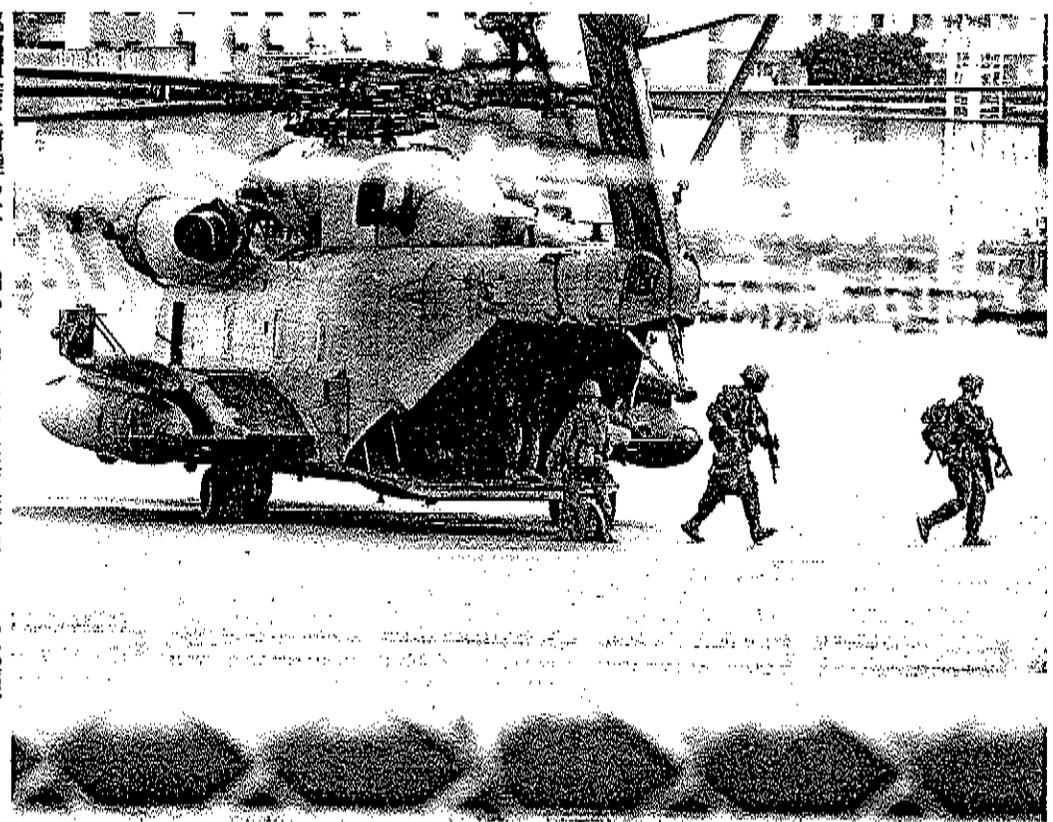


# 在沖米海兵隊が訓練強行

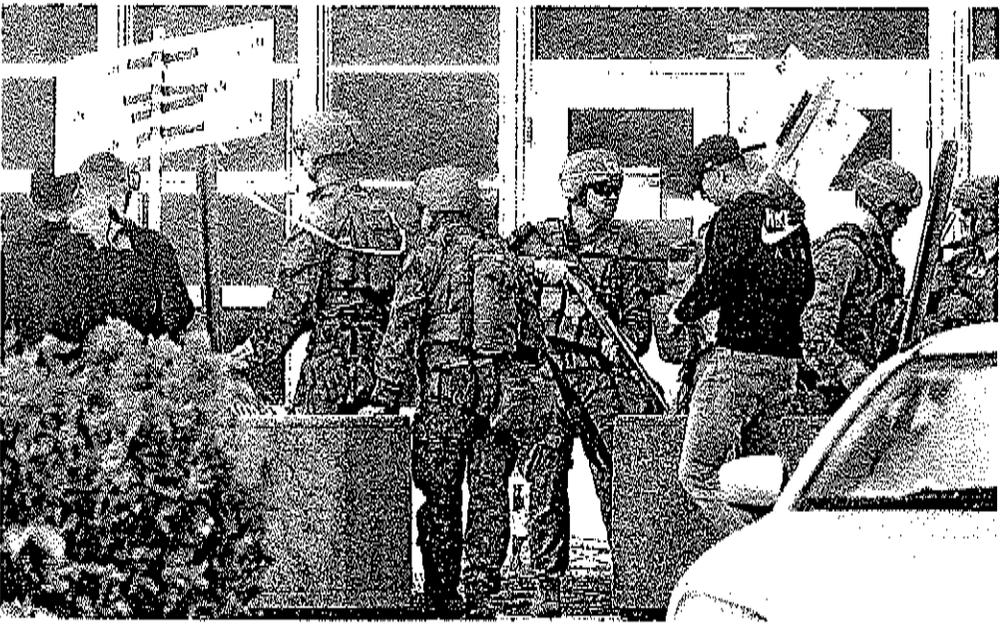
## 那覇軍港 県・市の中止要請無視

沖縄県や那覇市の中止要請を無視し、在沖米海兵隊は8日、那覇軍港での大規模訓練を開始しました。同日午前10時10分ごろ、米軍CH53E大型輸送ヘリが着陸。自動小銃などで武装して降り立った海兵隊員約25人は、建物の周りを有刺鉄線で囲み、警備の訓練を始めました。

午後になり、「アメリカへ帰れ」などと書かれた英語のプラカードを掲げて抗議する10人ほどの民間人役者とバリケード越しに警戒する訓練が行われました。建物の2階からは小銃を構えた隊員の姿も見られました。また、午後4時55分ごろ、MV22オスプレイが飛来、隊員約20人を降ろして飛び去っていきました。県はただちに、在沖米軍港で航空機の離着陸を「一」と訴えました。



那覇軍港に着陸したCH53から降り立つ米海兵隊員。8日、那覇市



訓練で有刺鉄線を張って「千隊校」を警戒する米海兵隊員。8日、那覇市の那覇軍港

政仁基地対策統括監は、那覇軍港は「市街地に位置し、多くの民間機が離着陸する那覇空港に近接している。(訓練は)県民に新たな基地負担を強いるものがあり、断じて容認できない」と訴えました。